

# 第二部

## 副籍アイデア集

第二部では、副籍制度を利用した交流活動の充実を目指した各校での取組のアイデアを紹介します。

都立特別支援学校及び地域指定校の保護者や地域住民への交流活動の周知、特別支援学校間の連携など、各学校では様々な取組が行われています。

この副籍アイデア集を参考にして、各校でできることから是非始めてみましょう。

## 【アイデア①】「主任児童委員」への理解啓発

特別支援学校に在籍する児童・生徒は、居住する地域から離れた特別支援学校に通うため、保護者からは「自宅近辺では、地域の人に声をかけてもらうことが少ない」などの声を聞くことができました。

そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、地域の主任児童委員に地域指定校での直接交流場面の見学に参加してもらい、副籍交流を地域へ広げることを目指しました。

主任児童委員は、福祉や保護等のための相談や援助を行う児童委員の中から厚生労働大臣が指名し、各地域において、児童福祉に関する様々な機関と連絡調整を行う役割を担っています。

見学の結果、主任児童委員が、特別支援学校の児童・生徒や保護者についての理解を深めることによって、地域でも主任児童委員を含めた地域の住民との関わりが少しずつ増えてきました。

### 副籍交流の充実のためのアイデア

#### ●地域の主任児童委員へ直接交流場面の見学を勧める。

- ・ 特別支援学校の保護者や地域指定校に、主任児童委員が直接交流の場面を参観することについて了承してもらいました。
- ・ 地域指定校がある区市町村役所の民生委員・児童委員所管部署と連携し、主任児童委員に直接交流の場面を参観し、子供たちの様子を見てほしい旨を依頼しました。
- ・ 特別支援学校の特別支援教育コーディネーターが、民生委員・児童委員の会議に出席して副籍制度の意義などを説明し、理解啓発を図りました。

### アイデアの成果

- ・ 主任児童委員が、地域に居住する特別支援学校の児童・生徒について知ることができました。
- ・ 地域で、主任児童委員が特別支援学校の保護者へ声をかけてくれるようになりました。
- ・ 主任児童委員が、特別支援学校の保護者と地域の住民との仲介役となり、特別支援学校の児童・生徒及び保護者と地域の住民との関わりが深まりました。

### 保護者の感想

- ・ 以前は、家の近くで声をかけてもらうことが少なかったのですが、今では地域の方から親しく声をかけてもらえています。地域のつながりができて、子供と一緒に街へ出掛けるのも楽しみです。



## 【アイデア②】「保護者座談会」の実施

特別支援学校の保護者同士で副籍交流の情報交換をする機会が少ないため、どのような交流を行っているのか、お互いに知ることはありませんでした。

また、副籍交流を行うかどうか迷っている保護者から、「実際の体験談を聞く機会がないため、交流の希望に結びつきにくい」という意見がありました。

そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、保護者が副籍交流について話し合う「保護者座談会」を実施することにしました。

座談会では、直接交流を行っている保護者から体験談を聞いたり、悩みを相談したりすることにより、参加した保護者からは「副籍交流の希望について前向きに考えたい」といった感想が聞かれました。

### 副籍交流の充実のためのアイデア

#### ●副籍制度保護者座談会を実施する。

- 多くの保護者が集まりやすいように、授業参観週間の最終日に設定しました。
- 事前に座談会の実施目的などを保護者へ周知し、参加を促しました。
- 座談会では、副籍制度を利用していない保護者への理解啓発を図るため、直接交流を行っている保護者が実際の交流の様子を話したり、交流についての悩みを全体で共有したりする場面を設定しました。

### アイデアの成果

- 保護者から実際の直接交流の様子を話してもらうことにより、直接交流を行っていない保護者もイメージをもつことができました。
- 保護者が直接交流に参加した経験から、交流時に取り上げてほしい内容を情報交換できる場となりました。
- 保護者間で交流についての悩みを話し合うことで、「前向きに交流を考えたい」という声がありました。

### 保護者の感想

- 皆さんから副籍交流についてのお話を聞くことができ良かったです。副籍交流について不安なこともあります、地域指定校の子供達と仲良く交流していると聞いたので、これから直接交流を考えてみたいと思います。



## 【アイデア③】 地域指定校の学校公開で授業交流を実施

特別支援学校と地域指定校の児童・生徒同士の交流の様子を、地域指定校の保護者や地域住民が見学する機会が少ないため、その理解啓発が必要です。

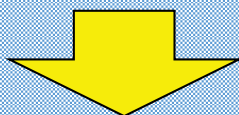
そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、地域指定校の学校公開において、授業交流を実施することにしました。

地域指定校の保護者や地域住民が、実際の交流場面を参観したことにより、特別支援学校の児童・生徒についての理解を深めてもらうことができ、児童・生徒同士のふれあいの様子を知ってもらうことができました。

### 副籍交流の充実のためのアイデア

#### ●地域指定校の学校公開において直接交流を行う。

- ・ 特別支援学校、地域指定校の校長・副校長や保護者に了解を得た上で授業を計画しました。
- ・ 特別支援学校、地域指定校が緊密な連携を図り、日頃から児童・生徒同士のふれあいを大切にした交流を積み上げた上で、学校公開での直接交流を行いました。
- ・ 学校公開として特別なことを行うのではなく、普段と変わらない授業交流を行うように配慮しました。



### アイデアの成果

- ・ 地域指定校の保護者や地域住民に、特別支援学校の児童・生徒について理解を深めてもらうことができました。
- ・ 地域指定校の保護者や地域住民に、副籍制度の取組について知ってもらうことができました。
- ・ 地域指定校の児童・生徒や保護者が、当日の交流について家庭で話題にすることにより、障害のある児童・生徒への理解や関わり方を深めることができました。



## 【アイデア④】「理解推進リーフレット」の作成

副籍交流を行う際、障害のある児童・生徒に対する地域指定校の児童・生徒の理解が十分ではないとき、充実した交流にならない場合があります。

そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、在籍する児童・生徒についての理解啓発を図るため、「理解推進リーフレット」を作成しました。

地域指定校の児童・生徒に「理解推進授業」を行う際や、地域指定校の教員との打ち合わせの際に、このリーフレットを活用することにより、特別支援学校の児童・生徒へのイメージが持ちやすくなりました。その結果、充実した交流活動に結びつきました。

### 副籍交流の充実のためのアイデア

#### ● 「理解推進リーフレット」を作成・活用する。

- ・ 特別支援学校の児童・生徒についての理解を深められるように、小学生、中学生、大人向けにそれぞれ内容を工夫したリーフレットを作成しました。
- ・ 特別支援学校の児童・生徒への理解を深める内容とともに、副籍制度についての説明などを中心に作成し、副籍交流の充実を図りました。
- ・ 特別支援学校の児童・生徒をイメージしやすいように、副籍交流の打ち合わせを行う際、積極的に活用するようにしました。

### アイデアの成果

- ・ 地域指定校の児童・生徒が、リーフレットを通じて学習した内容をもとに、特別支援学校の児童・生徒への関わり方を工夫しようとする場面が見られました。
- ・ 地域指定校の教員は、リーフレットを通じて特別支援学校の児童・生徒について理解が深まったことで、交流活動のアイデアの充実に結び付けることができました。
- ・ 特別支援学校の校長・副校長が、区市町村の校長連絡会などに持参し、説明したことにより、地域の小・中学校での副籍制度の理解に結び付けました。

